

記載例

申請者 氏 名 株式会社〇〇〇〇 代表取締役〇〇〇〇
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

住 所 〒〇〇〇〇-〇〇〇〇
姫路市〇〇区〇〇町△丁目〇〇-〇〇

電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇

※注意！！

虚偽の記載が発覚した場合や、重要な事項の記載が欠けている場合は、登録が拒否されたり、登録後に取り消されることがありますのでご注意ください。

第一種動物取扱業登録申請書

動物の愛護及び管理に関する法律第10条第2項の規定に基づき、下記のとおり第一種動物取扱業の登録の申請をします。

1 事業所の名称		Pet Shop 〇〇〇	記 スペース、アルファベットの大文字小文字ははっきりわかるように記入してください。		
2 事業所の所在地		〒 〇〇〇-〇〇〇〇 姫路市〇〇町△丁目〇〇-〇〇 電話番号 (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇	ビル・マンション名があれば記入してください。		
3 動物取扱責任者		(1)氏名 〇〇 〇〇	第一種動物取扱業の登録がない店舗は実務経験と認められません		
		(2)要件 <input type="checkbox"/> 獣医師 <input type="checkbox"/> 愛玩動物看護師 <input checked="" type="checkbox"/> 実務経験 (2年、経験場所：ペットショップ△△) <input type="checkbox"/> 飼養経験 (年、経験場所：) <input type="checkbox"/> 教 育 (教育機関等：) <input checked="" type="checkbox"/> 資 格 (団体等：公益社団法人×× 資格：〇〇〇)	獣医師、愛玩動物看護師以外は、①実務経験か飼養経験にチェック、②教育が資格にチェック、の2か所にチェックが必要です。		
4 第一種動物取扱業の種別		<input checked="" type="checkbox"/> 販売 / <input type="checkbox"/> 保管 / <input type="checkbox"/> 貸出し / <input type="checkbox"/> 訓練 / <input type="checkbox"/> 展示 <input type="checkbox"/> その他 () (飼養施設の有無： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無)	飼養施設を持つ場合は取扱う動物の種と最大飼養数を、持たない場合は取扱う動物の種と1日当たりの最大の取扱数を記入してください。記載しきれないときは別の用紙に記載して添付してください。		
5 業務内容及び実施の方法	(1)業務の具体的内容	動物の小売業			
	(2)実施の方法	別記のとおり (販売及び貸出しの場合に限る。)			
6 主として取り扱う動物の種類及び数	(1)哺乳類	犬 (5)、猫 (3)、ハムスター (30)	}		
	(2)鳥 類	セキセイインコ (9)			
	(3)爬虫類	カメ (5)			
7 飼養施設 (施設を有する場合)	(1)所 在 地	姫路市〇〇町△丁目〇〇-〇〇			
	(2)構 造 及 び 規 模	①建築構造	<input type="checkbox"/> 木造 / <input type="checkbox"/> 木造モルタル造 / <input checked="" type="checkbox"/> 鉄骨鉄筋コンクリート造 / <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 / <input type="checkbox"/> コンクリートブロック造 <input type="checkbox"/> その他 ()		
		②延床面積	30 m ²		
		③敷地面積	100 m ²		
		④材 質	床 面	FRP	
			壁 面	耐水性ビニールクロス	
⑤設備の種類	<input checked="" type="checkbox"/> ケージ等 (40 個) <input checked="" type="checkbox"/> 照明設備 / <input checked="" type="checkbox"/> 給水設備 / <input checked="" type="checkbox"/> 排水設備 / <input checked="" type="checkbox"/> 洗浄設備 / <input checked="" type="checkbox"/> 消毒設備 / <input checked="" type="checkbox"/> 廃棄物の集積設備 / <input checked="" type="checkbox"/> 動物の死体の一時保管場所 / <input checked="" type="checkbox"/> 餌の保管設備 / <input checked="" type="checkbox"/> 清掃設備 / <input checked="" type="checkbox"/> 空調設備 / <input checked="" type="checkbox"/> 遮光等の設備 / <input checked="" type="checkbox"/> 訓練場				

	(3)管理の方法	ケージの材質：合成樹脂及びステンレス、ガラス 構造：おり式、ガラス水槽 転倒防止措置：平置1段ケージ、連結式2段ケージで壁面に固定	・ケージ等の材質、構造 ・転倒防止措置 を記入してください。
8	営業の開始年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日	
9	権原の有無	①事業所 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ②飼養施設 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	ペットの飼養や、動物取扱業を行うことが土地・建物の持ち主に認められていることが必要になります。
10	事業所以外の場所において重要事項の説明等をする職員（事業所の外で業務を行う場合）	(1)氏名 (2)要件 <input type="checkbox"/> 実務経験（ 年、経 <input type="checkbox"/> 教 育（教育機関等： <input type="checkbox"/> 資 格（団体等：	ペットシッターや出張訓練等、事業所以外の場所で業務を行う職員がいる場合記載してください。動物取扱責任者と同じ人が行うことも可能です
11	事業所ごとに配置される重要事項の説明等をする職員	(1)氏名 (2)要件 <input checked="" type="checkbox"/> 実務経験（〇年、経 <input type="checkbox"/> 教 育（教育機関等： <input type="checkbox"/> 資 格（団体等：	動物取扱責任者と同じ人が行うことも可能です
12	事業所に配置される職員の最低数	5人	
13	営業時間	10時から19時までの間（うち特定成猫の展示時間 12:00～19:00）	
14	犬猫等の繁殖を行うかどうかの別及び犬猫等健康安全計画	別記2のとおり（犬猫等販売業者に限る。）	
15	添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 登記事項証明書 <input checked="" type="checkbox"/> 申請者が法第12条第1項第1号から第7号の2までに該当しないことを示す書類 <input checked="" type="checkbox"/> 動物取扱責任者が法第12条第1項第1号から第7号の2までに該当しないことを示す書類 <input checked="" type="checkbox"/> 第3条第6項に規定する使用人が法第12条第1項第1号から第7号の2までに該当しないことを示す書類 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の実施の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 飼養施設の平面図 <input checked="" type="checkbox"/> ケージ等の規模を示す平面図・立面図（犬又は猫の飼養又は保管を行う場合に限る。） <input type="checkbox"/> 飼養施設 <input checked="" type="checkbox"/> 役員の氏名及び住所 <input type="checkbox"/> その他（ ）	新規申請時から変更のないもの及び変更の届出を既に行っている事項に係る添付書類は省略できます。
16	備考	本件事務担当者 〇〇 〇〇電話（〇〇〇）〇〇〇—〇〇〇〇	

備考

- 「3(2)要件」欄には、要件を満たす具体的な内容（教育機関及び専攻コースの名称、資格名等）を記入すること。また、飼養経験にチェックを入れた場合は、それを示す具体的な書類を添付すること。
- 「5(1)業務の具体的な内容」欄には、申請に係る業務の内容をできるだけ具体的に記入すること。営もうとする場合は、業務の実施の方法について本様式別記により明らかにすること。
- 「6 主として取り扱う動物の種類及び数」欄には、事業所で主として取り扱う動物の種類及び数を記入すること。また、飼養施設を有している場合は動物の種類ごとに最大飼養保管数を、飼養施設を有していない場合は1日当たりの最大取扱数を括弧書きで記入すること。なお、種の分類が困難な爬虫類等の動物の種類については、科名、属名等で記入すること。
- 「7(2)⑤設備の種類」欄には、動物の愛護及び管理に関する法律施行規則第2条第2項第4号に掲げる設備等を備えている場合に、備えている設備等にチェックをすることとし、ケージ等についてはその数を記入すること。
- 「7(3)管理の方法」欄には、ケージ等の材質、構造及び転倒防止措置を記入すること。
- 「9 権原の有無」欄は、所有権、賃借権等事業の実施に必要な事業所及び飼養施設に係る権原の有無についてチェックをすること。「9②飼養施設」欄は、飼養施設を有する場合にチェックをすること。
- 「10 事業所以外の場所において重要事項の説明等をする職員」及び「11 事業所ごとに配置される重要事項の説明等をする職員」欄には、要件を満たす具体的な内容（教育機関及び専攻コースの名称、資格名等）を記入し、必要に応じて成績証明書等を添付すること。また、該当する職員が複数名在籍する場合は別紙に記載して添付すること。
- 「12 事業所に配置される職員の最低数」欄には、犬又は猫の飼養若しくは保管を行う場合は、常勤職員の数に加え、常勤職員以外の職員については、当該職員のそれぞれの勤務延時間数の総数を当該事業所において常勤の職員が勤務すべき勤務延時間数で除した数値（整数未満の端数がある場合は、当該端数を切り捨てる。）を最低数に合計して記載すること。

本届出の事務を担当される方の氏名と電話番号を記載してください。